

# こおりやま広域連携中枢都市圏

## 構成市町村データブック









2022年3月

## 目次

<b>1</b>	<b>構成市町村要覧</b>	<b>1</b>
(1)	郡山市	1
(2)	須賀川市	2
(3)	二本松市	3
(4)	田村市	4
(5)	本宮市	5
(6)	大玉村	6
(7)	鏡石町	7
(8)	天栄村	8
(9)	磐梯町	9
(10)	猪苗代町	10
(11)	石川町	11
(12)	玉川村	12
(13)	平田村	13
(14)	浅川町	14
(15)	古殿町	15
(16)	三春町	16
(17)	小野町	17
<b>2</b>	<b>構成市町村統計データ</b>	<b>18</b>
(1)	面積	19
(2)	世帯数	19
(3)	1世帯当たり人員	19
(4)	人口	19
(5)	人口密度(1km <sup>2</sup> あたり)	19
(6)	年少人口(15歳未満)	20
(7)	生産年齢人口(15-64歳)	20
(8)	老年人口(65歳以上)	20
(9)	年少人口割合	20
(10)	生産年齢人口割合	20
(11)	老年人口割合	20
(12)	人口動態	21
(13)	合計特殊出生率(ベース推定値)	21
(14)	平均寿命	21
(15)	就業者(第1次産業、第2次産業、第3次産業)	22
(16)	事業所数(民間)	22
(17)	従業者数(民間)	22
(18)	農業経営体(個人)	23
(19)	森林面積	23
(20)	工業	24
(21)	商業	24
(22)	市町村民所得	25
(23)	普通会計の決算状況	26
(24)	地方債現在高割合	26
(25)	財政力指数	26
(26)	市町村道の現況	27
(27)	自動車保有台数	27
(28)	消防	28
(29)	交通事故	28
(30)	汚水処理人口普及率	28
(31)	ごみ排出総量(1人1日当たり)	28
(32)	医療	29
(33)	介護保険料65歳以上基準額月額	29
(34)	国民年金の状況	29
(35)	国民健康保険の状況	30
(36)	保育所	30
(37)	児童館	30
(38)	幼稚園(公立・私立)	30
(39)	幼保連携型認定こども園(公立・私立)	30
(40)	小学校(公立・私立)	31
(41)	中学校(公立・私立)	31
(42)	義務教育学校(公立)	31
(43)	高等学校(公立・私立)	32
<b>3</b>	<b>施設位置図</b>	<b>33</b>
(1)	医療関連機関位置図	33
(2)	救急医療施設位置図	34
(3)	大学・研究開発等拠点施設位置図	35

# 1 構成市町村要覧

## (1) 郡山市

市章	所在地		所在地標高	
	郡山市朝日一丁目 23 番 7 号		海拔 245.00m	
	花	木	鳥	
 ハナカツミ	 ヤマザクラ	 カッコウ	 ビッグアイ	
概要				
<p>(自然条件)                      福島県の中央に位置し、面積は 757.20 km<sup>2</sup>と広域で、西は奥羽山脈と猪苗代湖に接し、東は阿武隈山系、北は安達太良山を望み、市街地東部を阿武隈川が南北に貫流している。年平均気温は約 12℃となっており、比較的穏やかな内陸性気候である。</p>				
<p>(産業・経済)                      東北有数の商品販売額、製造品出荷額を誇る商工業都市であると同時に、米については生産量、食味ともに全国トップクラスを誇り、「農業・商業・工業」がバランスよく発展している。高速交通体系に恵まれた立地を生かし、農・商・工さらには観光を加えた基幹産業の整備に努めている。</p>				
<p>(観光・文化)                      猪苗代湖の雄大な自然景観、多くの観光客が訪れる磐梯熱海温泉郷、張子の里高柴デコ屋敷、郡山布引風の高原など観光資源が豊富である。                      また、2016 年 4 月には、近代郡山発展の礎となった安積開拓にまつわるストーリー「未来を拓いた『一本の水路』－大久保利通“最期の夢”と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代－」が県内初の日本遺産に認定された。                      文化面では、音楽活動が特に盛んで、多くの演奏会が市内で開催されているほか、毎年、市内小・中学校、高校の音楽関係部活動が全国大会で輝かしい成果を収めるなど、音楽都市こおりやまを全国に発信している。</p>				
<p>(伝統行事・伝統芸能)                      如宝寺境内で行われる「七日堂まいり」、奈良時代の伝説を今に伝える「郡山うねめまつり」、山車みこしが街中を練り歩き活気あふれる「安積国造神社の秋まつり」、市指定文化財である中田町「柳橋の歌舞伎」、三穂田町「富岡の唐傘行灯花火」等多数。</p>				
<p>(特産品)                      郡山産米「あさか舞」、ASAKAMAI887、うねめ牛、郡山の鯉、特選郡山梨、阿久津曲がりねぎ、布引高原大根、御前人参、高柴デコ屋敷の張子・三春駒、海老根伝統手漉和紙、奥州郡山いやしの福とんぼ、ブドウ蔓かご、味宿場郡山地酒探訪、蔵元焼酎吟粒、いも焼酎郡山太郎右エ門、たまござけ、OUSEPOIRE JAPONAISE (梨のリキュール)、郡山産ワイン「Vin de Ollage」(ヴァン デ オラージュ)</p>				
将来都市構想・分野別将来構想				
将来都市構想：みんなの想いや願いを結び、未来(あす)へとつながるまち 郡山 ～気候変動対応型課題解決先進都市～ (2018 年 2 月策定)				
分野別将来構想：		基盤的取組：		
I 産業・仕事の未来 II 交流・観光の未来 III 学び育む子どもたちの未来 IV 誰もが地域で輝く未来 V 暮らしやすいまちの未来		・行政経営の効率化 ・セーフコミュニティ活動の推進 ・連携中枢都市圏構想の推進 ・SDGs の推進 (震災関連) 横断的取組：復興・創生の更なる推進		
沿革				
大 13.9.1 市制施行(編入小原田村) 昭 29.11.1 編入 富田村 昭 30.1.1 境界変更 高瀬村の一部 昭 30.3.31 編入 大槻町 昭 30.11.1 境界変更 三春町大字荒井、蒲倉、三穂田村の一部 昭 30.11.15 編入 岩江村の一部		昭 40.5.1 合体 郡山市、安積町、三穂田村、逢瀬村、片平村、喜久田村、日和田町、富久山町、湖南村、熱海町、田村町 昭 40.8.1 編入 西田村、中田村 昭 45.11.1 境界変更 須賀川市 平 9.4.1 中核市移行 平 11.10.1 境界確定変更 猪苗代湖		

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

(2) 須賀川市

市章	所在地		所在地標高	
	須賀川市八幡町 135 番地		海拔 262m	
	花	木	鳥	
	 ぼたん	 あかまつ	 かわせみ	
概要				
<p>(自然条件)                      福島県の中央よりやや南に位置し、東西に広がりのある形状をなしており、東は阿武隈山地、西は奥羽山系の山々が連なり、その間の中央部に平坦地が広がる地形となっている。気候は、総体的には一年を通じて比較的温和で関東地方に近い。</p>				
<p>(産業・経済)                      農業は、米、野菜、果実が中心で、首都圏に隣接する優位性を生かし、都市近郊型農業が展開されている。特に「岩瀬きゅうり」ブランドで有名な夏秋きゅうりは、市を代表する特産品となっている。工業は、電気機械器具、窯業、プラスチック製品、鉄鋼業、生産用機械器具、食料品、金属製品、情報通信機械器具、電子部品・デバイス・電子回路などが中心で、製造出荷額等の約 78%を占める。</p>				
<p>(観光・文化)                      国指定名勝「須賀川の牡丹園」、約 1 万発の花火が夜空を彩る「釈迦堂川花火大会」、430 余年前の戦国の世の悲運を偲ぶ伝統行事「松明あかし」、つつじ・しゃくなげ・しゃくやくなど約 1 万株の「大桑原つつじ園」、和文化の振興と継承及び地域交流を推進する「風流のはじめ館」、「特撮の神様」と称される円谷英二監督の偉業を顕彰する「円谷英二ミュージアム」、特撮に関する資料の収集、保存、調査研究等により特撮文化を顕彰、推進する「須賀川特撮アーカイブセンター」、ねぶた・ねぶたの「長沼まつり」、約 80mの落差のある「幻の大滝」など、数多くの個性的な観光資源を有する。また、「牡丹焚火」と「松明あかし」が俳句歳時記の季語に記載されている。</p>				
<p>(伝統行事・伝統芸能)                      松明あかし（毎年 11 月の第 2 土曜日）、牡丹焚火（毎年 11 月の第 3 土曜日）、榊衝神社「太鼓獅子」（旧暦の閏年 10 月第 1 日曜日）、里守屋三匹獅子舞（毎年 7 月最後の土・日曜日）、梅田三匹獅子舞（毎年 7 月）、古館ドンド焼き（毎年 8 月 16 日）、木之崎八雲神社御神輿渡御（旧暦の閏年 7 月第 2 土曜日）、仁井田田植え踊り（毎年 5 月 1 日）等、多数。</p>				
<p>(特産品)                      なし、りんご、もも、カップ麺、岩瀬きゅうり、米、トマト、ナス、秋冬ニラ（甘ニラ）、なたね油、そば、いちご、ユキヤナギ、西洋ウメモドキ</p>				
将来都市像・政策別基本方針				
将来都市像：選ばれるまちへ ともに歩む自治都市 すかがわ（2017 年 12 月策定）				
政策別基本方針：				
1 いきいきと人が輝くまちづくり 2 笑顔で健やかに暮らせるまちづくり 3 安全に安心して暮らせるまちづくり 4 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり 5 活力とにぎわいあふれるまちづくり				
沿革				
昭 29.3.31 合体（市制施行）須賀川町、浜田村、西袋村、稲田村、小塩江村 昭 30.3.10 編入 仁井田村 昭 42.2.1 編入 大東村 平 17.4.1 編入 長沼町、岩瀬村				





出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

(3) 二本松市

市章	所在地		所在地標高	
	二本松市金色 403 番地 1		海拔 226.00m	
	花	木	鳥	
	 きく	 さくら	 うぐいす	 霞ヶ城公園
概要				
<p>(自然条件) 福島県の中央北部に位置し、西に「智恵子抄」で詠われた安達太良山を擁し、中央の平坦部を阿武隈川が北流、東部には阿武隈山系が連なる風光明媚な自然環境に恵まれ、中心部の平均気温は 12℃前後と比較的温暖で過ごしやすく、年間降水量も少ない。</p> <p>(産業・経済) 農業は、米を基幹作物として、野菜、畜産、果樹等を組み合わせた複合経営を行っている。商工業は、木工家具、菓子、酒造等の地場産業のほか、近年郊外型大型店舗の進出が目立つ。また、産業集積の拠点として、長命工業団地を整備し、企業誘致を推進している。</p> <p>(観光・文化) 名峰「安達太良山」、阿武隈山系の信仰の山「日山」「羽山」をはじめ、天然記念物の「杉沢の大スギ」や「木幡の大スギ」、合戦場のしだれ桜、霞ヶ城公園、智恵子の生家、稚児舞台などの名勝、岳温泉、名目津温泉、安達ヶ原ふるさと村、阿武隈川漕艇場等がある。</p> <p>(伝統行事・伝統芸能) 約 350 年の歴史を持つ「二本松の提灯祭り (10 月第 1 土曜日から月曜日までの 3 日間)」、「二本松の菊人形 (10 月 8 日から 11 月 13 日)」、「万人子守地蔵尊例大祭 (5 月 3 日、4 日)」、「小浜の紋付祭り (10 月 8 日、9 日)」、「針道のあばれ山車 (10 月 9 日)」、「木幡の幡祭り (12 月第 1 日曜日)」</p> <p>(特産品) 乳用牛、肉用牛、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、つるむらさき、スプレー菊、椎茸、なめこ、りんご、桑葉加工品、清酒、菓子、家具、仏壇・仏具、二本松万古焼、上川崎和紙、ワイン、シールドル</p>				
将来像・基本方針				
将来像：笑顔あふれる しあわせのまち 二本松 (2020 年 12 月策定)				
基本目標： <ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康で暮らし続けられるまち</li> <li>2 地域の誇りに満ちた活力あるまち</li> <li>3 世代をつないで人を育むまち</li> <li>4 安全で快適な暮らしのあるまち</li> </ol>				
沿革				
昭 30.1.1 二本松町、塩沢村、岳下村、杉田村、石井村、大平村が合併により二本松町となる 昭 30.1.1 油井村、渋川村、上川崎村が合併により安達村となる 昭 30.1.1 小浜町、新殿村、旭村が合併により岩代町となる 昭 30.1.1 太田村、針道村、木幡村、戸沢村が合併により東和村となる 昭 33.10.1 二本松町が市制施行 昭 35.2.1 安達村が町制施行 昭 35.4.1 東和村が町制施行 平 17.12.1 二本松市、安達町、岩代町、東和町が合併により二本松市となる				

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

(4) 田村市

市章	所在地				所在地標高		星の村天文台
	田村市船引町船引字畑添 76 番地 2				海拔 408.00m		
	花		木		鳥		
		つつじ		なら		うぐいす	
概要							
<p>(自然条件) 阿武隈高原の中央に位置し、緑豊かな自然に恵まれた面積 458.33 km<sup>2</sup>の地域を有する。本地域は阿武隈山系が南北に走り、大小の山々によって丘陵起伏が縦横に連続する地形となっている。これらの山岳を源に大滝根川や高瀬川などの多くの河川が地域を流下している。気候は内陸山間型の特徴がある。</p> <p>(産業・経済) 第一次産業は、水稻、畜産、葉たばこ、そ菜等の複合経営が行われている。第二次産業は輸送用機械器具製造業、第三次産業は卸売業及び小売業の占める割合が高くなっている。</p> <p>(観光・文化) 国内有数の鍾乳洞である「あぶくま洞」「入水鍾乳洞」を始め、国の重要文化財や国指定、県指定の文化財が各地区に点在している。また、高柴山の約2万株のツツジなど、たくさんの自然に恵まれ、この自然を生かした施設も市内各地に整備されている。</p> <p>(伝統行事・伝統芸能) だるま市、安倍文殊堂例大祭、灯籠流しと花火大会、あぶくま洞秋まつり、各地区夏祭り、各地区文化祭、各神社例大祭、各地区三匹獅子舞、お人形様衣替え</p> <p>(特産品) あぶくまの天然水(モンド、セレクション7年連続大金賞受賞 2004~2010)、ハム工房都路商品のハム・ウインナー・ベーコン(ドイツ農業協会食品競技会にて金賞受賞 2005~2020)、みやこじスイーツゆい商品(プリン、山ぶどうチーズケーキ、おからショコラ)、たぎねワイン「北醇」、エゴマ製品(油、パウダー、キャラメル、ショコラ、エゴマ豚みそ)、鬼みそ、イワナ、葉たばこ、ピーマン、トマト、クラフトビール、福うなぎ、黒米甘酒、地酒等</p>							
将来像・基本方針							
<p>将来像：あぶくまの人・郷・夢を育むまち はつらつ高原都市 田村市 (2015年2月策定)</p> <p>基本方針：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域を活かす産業の振興</li> <li>2 健康づくりと福祉の充実</li> <li>3 未来を担うひとづくり</li> <li>4 快適な生活環境の整備</li> <li>5 市民参加の郷づくり・まちづくり</li> <li>6 行財政改革の推進</li> </ol>							
沿革							
<p>明 22.4.1 岩井沢村・古道村が合併により都路村となる。</p> <p>昭 30.2.1 常葉町・山根村が合併により常葉町となる。</p> <p>昭 30.4.1 船引町・芦沢村・美山村・移村・瀬川村・文珠村・七郷村が合併により船引町となる。</p> <p>昭 32.3.31 境界変更三春町の一部が船引町となる。</p> <p>平 17.3.1 滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町が合併により新市となる。</p>							

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP



(5) 本宮市

市章	所在地		所在地標高	
	本宮市本宮字万世 212 番地		海拔 214.10m	
	花	木	鳥	
 ぼたん	 まゆみ	 うぐいす		
概要				
<p>(自然条件)                      本宮市は、福島県の中央部に位置し、市のほぼ中央部には東北地方を代表する名川・阿武隈川が北流し、東部には阿武隈山系の岩角山、高松山、岳山などの山並みや丘陵地・農地が広がり、西部には安達太良山から連なる大名倉山を中心とした山並みを有し、水と緑の豊かな自然に恵まれている。総面積は 88.02 km<sup>2</sup>である。</p>				
<p>(産業・経済)                      阿武隈川流域の肥沃な土地条件や高速交通網が結節する交通の要衝としての優れた立地条件等を最大限に活用し、農業・商業・工業の振興を柱に、農産物の地産地消や企業誘致による雇用の場の創出等活力ある産業のまちづくりを推進している。</p>				
<p>(観光・文化)                      国の登録文化財「蛇の鼻御殿」がある「花と歴史の郷蛇の鼻」や「岩角山」を中心とした観光コースは人気が高く、市内外を問わず多くの人々が訪れる。また、市内には、みずいろ公園やプリンス・ウィリアムズ・パーク、英国庭園、白沢ふれあい文化ホールがあり、多くの人たちでにぎわっている。</p>				
<p>(伝統行事・伝統芸能)                      本宮市夏まつり（8月15日、16日）、もとみや秋祭り（10月第4土曜日を含む金、土、日の3日間）、しらさわ秋祭り（11月第2日曜日）、岩角山大梵天祭（1月3日）、八ッ田内七福神舞（1月7日）、高松山観音寺初寅祭（旧暦の初寅の日の夜）、荒井の太々神楽（大晦日から元旦暁）</p>				
<p>(特産品)                      米、チェリートマト、キュウリ、本宮烏骨鶏、とろろ芋、大核無柿（おおたねなしかき）、りんご、しいたけ、ビール、手作り糰みそ、本格長芋焼酎「さわうらら」、しらさわ宝漬、ぎんなん、清酒、アスパラガス</p>				
将来像・基本目標				
将来像：「笑顔」あふれる「人」と「地域」が輝くまち もとみや（2018年12月策定）				
基本目標：				
1 人を育み 地域を創る 未来へ夢ふくらむまち 2 いつまでも健康・豊かで 活力と賑わいにあふれるまち 3 自然と人の暮らしが調和する 安全・安心で快適なまち				
沿革				
明 22.4 本宮村が本宮町となる。 岩根村と関下村が合併により岩根村となる。 昭 29.3.31 本宮町、荒井村、青田村、仁井田村が合併により本宮町となる。 昭 30.4 白岩村と和木沢村（高木は本宮町へ合併）が合併により白沢村となる。 昭 31.4.30 岩根村が本宮町に編入となる。 平 19.1.1 本宮町、白沢村が合併により新市となる。				

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

(6) 大玉村

村章	所在地		所在地標高		
	安達郡大玉村玉井字星内 70 番地		海拔 約 250m		
	花	木	鳥		
	桜		松		きじ
概要					
<p>(自然条件)                      本村は、福島県中通り地方のほぼ中央にあり、郡山市、二本松市、本宮市と接し、県内主要都市である福島市と郡山市のほぼ中間に位置する。年間平均気温 12℃、年間降雨量 1,100mm と自然条件に恵まれている。</p> <p>(産業・経済)                      本村は農業が主体であり、約 1,300ha の水田が整備され、基幹作物の米を中心に、畜産、そ菜等との複合経営を行っている。また、公害のない、生きがいのある職場となるような企業の誘致を図り、農工一体の活力ある村づくりをめざしている。</p> <p>(観光・文化)                      安達太良山麓に県民の森があり、年間延べ 10 万人の観光客が訪れ県民いこいの場となっている。県民の森に接して公設民営の温泉宿泊施設「アットホームおおたま」があり、この施設を中心に多くのレクリエーション施設もある。また、貴重な遺産を保存展示するふるさとホールがある。</p> <p>(伝統行事・伝統芸能)                      遠藤ヶ滝不動尊祭礼が毎年 5 月 4 日から 6 日、9 月中旬の 2 回行われている。また、本揃田植踊り、神原田神社十二神楽の伝統芸能がある。</p> <p>(特産品)                      米、酵母牛、そば、日本酒、焼酎、きゅうり、りんご</p>					
将来像・基本目標					
将来像：小さくても輝く 大いなる田舎 美しい村・大玉村 (2021 年 10 月策定)					
基本目標： <ol style="list-style-type: none"> <li>1 力強い産業の復興・創生</li> <li>2 みんなで支える安心生活</li> <li>3 自然を生かした快適な暮らし</li> <li>4 夢を育てる教育・子育て</li> </ol>					
沿革					
昭 30.3.31 合併 大山村 玉井村					

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP



(7) 鏡石町

町章	所在地		所在地標高	
	岩瀬郡鏡石町不時沼 345 番地		海拔 270.00m	
	花	木	鳥	
	あやめ		しだれ桜	—
概要				
<p>(自然条件)                      福島県の中通り南部に位置し、西に釈迦堂川、東に阿武隈川が流れ、標高 280m 台の平坦な台地にある。年間平均気温は 12℃ 前後で比較的温暖であり、降水量は年間約 1,170mm で寡降水量地域に属する。</p> <p>(産業・経済)                      農業は、米を中心に果樹や野菜等の複合経営であり、農業所得は県下の上位にある。工業は町内 5 箇所の工業団地を中心に、国道 4 号線、JR 東北本線、東北自動車道鏡石スマートインターチェンジ等の高い交通環境の中で定着化が進み、農商工一体の町づくりを進めている。</p> <p>(観光・文化)                      唱歌「牧場の朝」のモデルとなった岩瀬牧場、桜や町花“あやめ”が美しく、ふくしま国体サッカー競技の会場にもなった鳥見山公園のほか、2012 年から農業と観光が連携して展開している「田んぼアート」、町の特産品販売コーナーと交流スペースを備えた鏡石まちの駅「かんかんてらす」などがある。また、鎌倉の故事を今に伝える史跡「鏡沼」、福島県重要文化財の西光寺の「杉戸絵」等多くの文化財がある。</p> <p>(伝統行事・伝統芸能)                      200 年の歴史をもつ「仁井田祭礼花火大会」や昭和 51 年に復活した「熊野神社太々神楽」が行われている。岩瀬牧場で交流の深いオランダにちなみ、鏡石「牧場の朝」オランダ・秋祭りが毎年開催されている。</p> <p>(特産品)                      特別栽培米「牧場のしずく」、特別純米酒「鏡の雫」、全国的にも有名な「岩瀬きゅうり」、リンゴやモモを代表とした果物も豊富で、近年では「いちご」が評判を呼んでいる。</p>				
将来像・基本目標				
将来像：かわる、かがやく、“牧場の朝” のまち かがみいし (2017 年 3 月策定)				
基本目標：				
I 町民と力を合わせて、新しい鏡石をつくります！ II 心豊かな人を育て、地域文化を大切にする鏡石をつくります！ III 地域で支えあう、人にやさしい鏡石をつくります！ IV 新しい産業を開花させ、活力あふれる鏡石をつくります！ V 快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪ねてみたくなる鏡石をつくります！				
沿革				
昭 37.8.1 町制施行				

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

## (8) 天栄村

村章	所在地			所在地標高	
	岩瀬郡天栄村大字下松本字原畑 78 番地			海拔 303.00m	
	花	木	鳥		
	りんどう		松 えんじゅ		うぐいす
概要					
<p>(自然条件) 四季折々にさまざまな彩りを見せる天栄村の自然。村のほぼ中央部にある分水嶺「鳳坂峠」を境に、村の気候は東西に大きく二分される。西部は、日本海式気候で冬期間は積雪が多く、那須山脈に囲まれた地域である。一方、東部は、太平洋式気候で降雪が少なく、釈迦堂川、竜田川沿いに耕地が拓けている。</p> <p>(産業・経済) 農業は、水稻を中心にそ菜や畜産の複合型農業である。特に夏秋きゅうりで実績を上げている。 工業は、現在 16 社（飯豊農工団地 3 社、ハイテク大山工業団地 11 社、その他 2 社）が操業しており、雇用と地域産業の振興に寄与している。</p> <p>(観光・文化) 羽鳥湖高原は、スキー場、ゴルフ場、キャンプ場、英語研修施設などのレジャー施設があり、一年を通じて楽しめる観光地である。また、環境省から国民保養温泉地に指定された二岐・岩瀬湯本・天栄温泉や、各種ペンション村など宿泊施設も充実している。</p> <p>(伝統行事・伝統芸能) 5月下旬 二岐山開き 7月第3日曜日 湯本満願寺の馬頭観世音祭</p> <p>(特産品) 天栄ヤーコン、天栄長ネギ、天栄米、天栄マカ、岩瀬きゅうり、りんご、しいたけ、味噌、しょう油、日本酒（廣戸川・寿々乃井）、ミニトマト、りんごジュース</p>					
将来像・基本目標					
将来像： 自然と共に 人・未来を創造する村 てんえい（2017年3月策定）					
基本目標：					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 みんなで安全・安心な環境づくり</li> <li>2 みんなで支え合い築く健康づくり</li> <li>3 みんなで地域を活かした産業づくり</li> <li>4 みんなで心豊かな人づくり</li> <li>5 みんなで未来につなぐ村づくり</li> </ol>					
沿革					
昭 30.3.31 合体 湯本村、牧本村、大里村、広戸村					




出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

(9) 磐梯町

町章	所在地		所在地標高
	耶麻郡磐梯町大字磐梯字中ノ橋 1855		海拔 378m
	花	木	鳥
 りんどう	 こぶし	 おおり	 慧日寺金堂
概要			
<p>(自然条件) 福島県会津盆地の東北部に位置し、北に霊峰磐梯山をはじめ猫魔岳などの山並みが連なり、山間部の起伏の多い丘陵地帯である。町中央部を大谷川、南は日橋川が東西に流れ、これらの河川に沿って耕地が開け、平均標高は 380m である。</p> <p>(産業・経済) 町全体の 70% が山林、原野で、耕地は少ないが、圃場整備は計画分をすべて完了、複合農業経営に力を入れ、菌茸、果樹、高原野菜、花き等の産地化を推進中である。町の豊かな湧水を利用する企業が進出している。</p> <p>(観光・文化) 会津フレッシュリゾート構想の中核をなすアルツ磐梯スキー場、苔むした礎石が人々の心をさそう国史跡慧日寺跡、慧日寺金堂、磐梯山慧日寺資料館、樹木の間を流れる名水百選の磐梯西山麓湧水群、樹齢 800 年の磐梯神社種まき桜。</p> <p>(伝統行事・伝統芸能) 御国祭として数百年の歴史を数える舟曳き祭（豊作祈願祭礼）巫女舞（春分の日）、彼岸獅子（3月彼岸入り）</p> <p>(特産品) 会津米、しいたけ、磐梯そば、磐梯はちみつ、磐梯の花カラー、ほうれん草など</p>			
将来像・基本方針			
<p>将来像：自分たちの子や孫たちが暮らし続けたい魅力あるまちづくり（2020年3月策定）</p> <p>基本目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 未来へ繋がるまちづくり</li> <li>2 やりがいのある仕事づくり</li> <li>3 充実した暮らしづくり</li> <li>4 共創協働のまちづくり</li> </ol>			
沿革			
昭 35.4.1 町制施行			

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

(10) 猪苗代町

町章	所在地		所在地標高	
	耶麻郡猪苗代町字城南 100 番地		海拔 521.60m	
	花	木	鳥	
 サギソウ	 ナナカマド	 ハクチョウ		
概要				
<p>(自然条件) 本町は、福島県のほぼ中央に位置する猪苗代湖の北岸に面し、東西北の三方を秀峰会津磐梯山をはじめとする山々に囲まれ、山と湖の織りなす雄大で美しい自然に包まれている。気候は日本海式気候で、内陸型の積雪寒冷地帯に属している。</p> <p>(産業・経済) 米の生産調整対策に伴う転作作物としてのそばを地域の特産物とし、農業の振興に努めている。また中心市街地活性化のため、魅力ある商店街づくりを推進している。</p> <p>(観光・文化) 磐梯山や猪苗代湖、世界に知られる医学者野口英世博士の生家などが保存・展示されている野口英世記念館など、名所・旧跡を多数有し、四季を通じてさまざまな魅力を堪能できる県内有数のオールシーズン型の観光リゾート地である。</p> <p>(伝統行事・伝統芸能) 初市（十三日市 1月13日）、小平瀧天満宮初天神（1月25日）、西久保彼岸獅子（3月14日から24日）、磐梯山山開き（5月下旬）、磐梯まつり（7月下旬）</p> <p>(特産品) そば、ブランド米「いなわしろ天のつぶ」、磐梯トマト、アスパラ、あげまんじゅう、天ぷらまんじゅう、笹だんご、日本酒、地ビール、しょうが加工品、中ノ沢こけし</p>				
基本理念・基本目標				
<p>基本理念：ともに地域を育て、みんなが心地よく暮らせるまち 猪苗代（2017年3月策定）</p> <p>基本目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全・安心を肌で感じる。</li> <li>2 豊かな自然を活かしきる。</li> <li>3 いつまでも猪苗代に暮らす。</li> <li>4 人をつくる。そして、まちをつくる。</li> <li>5 協働により、みらいをひらく。</li> </ol>				
沿革				
<p>昭 30.3.1 合体 猪苗代町、千里村、吾妻村、月輪村、翁島村</p> <p>昭 30.7.20 編入 長瀬村</p>				





出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

(11) 石川町

町章	所在地		所在地標高	
	石川郡石川町字長久保 185 番地の 4		海拔 320.00m	
	花	木	鳥	
				
<b>概要</b>				
<p>(自然条件) 本町は、県の南部、阿武隈高地の西側に位置し、阿武隈川流域の平坦地と阿武隈高地に連なる山間地から形成され、中央を流れる北須川と今出川に沿って開けている。気候は比較的温暖で、四季折々の景観を見せている。</p> <p>(産業・経済) 近年、第二次産業から第三次産業への就業者数などの比率が高まっている。農業は米を中心に畜産、野菜、果樹などの複合経営で、今後、首都圏への近接性を活かした園芸農業にも積極的に取り組んでいくことにしている。</p> <p>(観光・文化) 母畑・猫啼・片倉・塩ノ沢の温泉郷、母畑湖畔のレークサイドセンター、平安時代の女流歌人“和泉式部”出生地、県指定史跡“大壇、悪戸”等の古墳群、自由民権運動発祥地の記念碑などがあり、特に北須川・今出川沿いの桜並木は見ごたえがあり、毎年桜の季節には多くの観光客が訪れる。</p> <p>(伝統行事・伝統芸能) 石都々古和気神社祭礼（9月第三土・日曜）、中田のささら舞（9月中旬）、八槻市（11月23日）</p> <p>(特産品) リンゴ、梨、もも、こんにゃく、シイタケ、いしかわうどん、納豆、りんごジュース、いしかわ牛</p>				
<b>将来像・基本目標</b>				
<p>将来像：共に創る 幸せ実現のまち（2019年2月策定）</p> <p>基本目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康で元気に暮らせるまち</li> <li>2 活力ある産業を形成するまち</li> <li>3 豊かな心・町民文化を育むまち</li> <li>4 安全で住みよいまち</li> <li>5 都市機能が充実したまち</li> <li>6 共に創るまち</li> </ol>				
<b>沿革</b>				
昭 30.3.31 合体 石川町、沢田村、中谷村、母畑村、野木沢村、山橋村				

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP





## (12) 玉川村

村章	所在地				所在地標高	
	石川郡玉川村大字小高字中畷9番地				海拔 262.00m	
	花		木		鳥	
		山桜		赤松		山鳩
<b>概要</b>						
<p>(自然条件) 福島県の南部に位置し、阿武隈山地の西斜面の丘陵地と阿武隈川東岸に開けた平坦地に大別され、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた住みよい村である。福島空港の所在地である当村は、交通の利便性に優れた地域として発展しつつある。</p> <p>(産業・経済) 農業は、米、野菜を中心に畜産等の複合経営が行われている。近年は、小菊、リンドウなどの花き栽培を推進しており、特産品のさるなし、トマトなどととも、生産物直売所「こぶしの里」等で販売活動をしている。また、玉川工業団地への立地企業をはじめとする村内企業は、空港や道路環境の整備による交通の利便性を生かし、雇用面からも地域活性化が図られている。さらに、あぶくま高原道路などの高速交通ネットワークが整備され、ますますの発展が期待される。</p> <p>(観光・文化) 芭蕉の「奥の細道」ゆかりの地、乙字ヶ滝は「五月雨の滝降りうつむ水かさ哉」の句碑と共に桜の名所でも知られている。また、福島空港公園を訪れる家族連れや観光客も年々多くなってきており、地元特産品を目当てに訪れる客も増加している。また、2021年7月オープンの観光交流施設「森の駅 Yodge (ヨッジ)」を中心とした体験型の観光を推進しており、宿泊と着地型観光を推進している。 文化面では、国重要文化財指定の「石造五輪塔」、「東福寺舍利石塔」や県重要文化財指定の「宮ノ前古墳」など文化財も豊富で、古墳や遺跡も数多い。</p> <p>(伝統行事・伝統芸能) 県無形重要文化財指定・福島遺産百選認定の「南須釜念仏踊り」は、毎年4月3日と8月14日に艶やかな衣装を身につけた少女たちによって踊られる。また、8月13日に「玉川夏まつり・花火大会」、秋には「たまかわ産業まつり」が開催される。</p> <p>(特産品) 米、トマト、きゅうり、いんげん、さやえんどう、なす、大豆、さるなし、いちじく、ぎんなん、ブルーベリー、小菊、リンドウ</p>						
<b>将来像・基本目標</b>						
将来像： 未来が輝く村づくり “元気な” たまかわ (2016年3月策定)						
基本目標：						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 皆で支えあふ福祉の村づくり</li> <li>2 環境にやさしい安全・便利な村づくり</li> <li>3 活力のある村づくり</li> <li>4 人を育む村づくり</li> <li>5 交流と協働の村づくり</li> </ol>						
<b>沿革</b>						
昭 30.3.31 合体 泉村、須釜村						

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP



(13) 平田村

村章	所在地		所在地標高		芝桜
	石川郡平田村大字永田字切田 116 番地		海拔 490.40m		
	花	木	鳥		
 たんぽぽ	 あかまつ	 やまばと			
概要					
<p>(自然条件)                      本村は福島県南東部、阿武隈山系にあり、美しい自然豊かな地域。標高が平均 500m と高いため桜の開花が少し遅い。夏は高原特有の涼しさが心地よい。蓬田岳山麓の「ジュピアランドひらた」には約 25 万株の芝桜が植栽されており、4 月から 5 月の開花時期には多くの観光客で賑わう。</p>					
<p>(産業・経済)                      本村は、農業を基幹産業とし畜産業が盛んである。中山間地域の特性を生かし、稲作、野菜、花きなど多くの農産物が生産されている。工業では、あぶくま高原道路の全線開通による高速交通網の整備が図られ、積極的に企業誘致を進めている。</p>					
<p>(観光・文化)                      石川郡内の最高峰標高 952.2m の蓬田岳山頂には菅布祢神社が祀られ、登山者も多い。山麓には自然を活用した「ジュピアランドひらた」があり、5 月には「芝桜まつり」が行われる。6 月下旬から世界のアじさい園、ゆり園もオープンする。ゆりは 36 種 18,000 本、あじさいは 825 種 27,000 本植栽されており、世界一に認定された。また、国道 49 号沿いにある道の駅ひらたでは、地域の特産品が販売されている。母畑湖畔に近い山鶏滝にも観光客が絶え間なく訪れている。</p>					
<p>(伝統行事・伝統芸能)                      駒形ジャンガラ念仏踊りは 8 月 13 日に駒形地区で行われているもので、駒形念仏として広く知られている。また、正月の酉小屋燃やしが地域行事として定着している。</p>					
<p>(特産品)                      自然薯、地酒、乾麺、アスパラガス、えごま</p>					
将来像・基本目標					
将来像：自然に包まれ健康でおだやかな暮らしのできる高原のむら（2016 年 3 月策定）					
基本目標：					
1 心やすらぐ あんしん快適の 平田村 2 心おどる にぎわい交流の 平田村 3 心つながる ふれあい協働の 平田村					
沿革					
昭 30.3.31 合併 蓬田村、小平村					

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

(14) 浅川町

町章	所在地		所在地標高		浅川花火大会
	石川県浅川町大字浅川字背戸谷地 112 番地の 15		海拔 306.50m		
	花	木	鳥		
 サギソウ	 アカマツ	 オナガ			
概要					
<p>(自然条件)                      福島県中通り南部に位置し、東部に阿武隈山麓に連なる丘陵が南北に続く。町を西北に縦断するように阿武隈川の支流が走り、西部はおおむね平坦で農地が集団化されている。気象条件は比較的恵まれているものの、冬季の寒さは厳しく春先の晩霜が農作物に与える影響は大きい。</p>					
<p>(産業・経済)                      近年、第1次産業就業者は基幹作物の米を中心に畜産、野菜等の複合経営を行っている。第2次産業は精密機器、弱電気、信号機械が中心となっている。第2次、第3次産業への就業人口が増加し、地場産業の発掘、既存企業の育成、定住促進住宅の購入費等、町民はもとより他の地域からの移住者の生活の安定を図る。</p>					
<p>(観光・文化)                      病理学者吉田富三博士を顕彰する「吉田富三記念館」、ついじの森にたたずむ石仏「五智如来」、「即身弘智法印有貞」、遠く那須連峰を一望でき、夜景が素晴らしい城山がある。</p>					
<p>(伝統行事・伝統芸能)                      300 有余年の歴史と伝統のある「浅川の花火」(毎年8月16日)、慶応以前から始められたと言われる「カラスもち」(毎年4月3日)、無病息災と豊作を祈願する「風袋(カザブクロ)」(毎年二百十日の前日)がある。近年、除夜の花火や夜桜花火、豊秋花火打上げで「花火の里」のイメージアップを図っている。</p>					
<p>(特産品)                      米、肉用牛、野菜、乾麺、地酒、鶏卵、魔除花火など</p>					
将来像・政策目標					
将来像：笑顔あふれる 住みよいまち 浅川 (2016年3月策定)					
政策目標： <ol style="list-style-type: none"> <li>1 健やかで安心・快適な暮らしづくり</li> <li>2 未来に輝く人と文化づくり</li> <li>3 活力と交流に満ちた産業づくり</li> <li>4 持続的発展を支える基盤づくり</li> </ol>					
沿革					
昭 10.8.1 町制施行 昭 29.10.1 合併 浅川町、山白石村 昭 30.8.20 境界変更 東村大字太田輪・小貫					





出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

(15) 古殿町

町章	所在地		所在地標高	
	石川郡古殿町大字松川字新桑原 31 番地		海拔 301.00m	
	花	木	鳥	
 ヤマユリ	 スギ	 キジ		
概要				
<p>(自然条件)            福島県の南、石川郡の南東、阿武隈山系の西斜面に位置している。標高は 300～500m で起伏の多い丘陵が波状的に連なり、地質は花崗岩を母体として形成され、中生層及び古生層の竹貫式結晶片岩からなる。山地は杉の適地である。</p> <p>(産業・経済)            第一次産業における農業は米、山菜栽培、畜産が中心である。林業も盛んであり間伐、林道事業等を積極的に推進している。</p> <p>(観光・文化)            三株山、芝山はキャンプ場も整備され、多くのハイカーでにぎわう。春は越代のサクラやふるどの桜街道の花見、鎌倉岳遊歩道の散策、秋の八幡神社祭礼の「流鏝馬」、また県重要文化財の西光寺阿弥陀堂、木造地藏菩薩座像などがある。</p> <p>(伝統行事・伝統芸能)            800 年余の伝統をもち、荘厳にして勇壮な鎌倉絵巻「流鏝馬（毎年 10 月第 2 日曜日とその前日）」、「馬場平のジャンガラ念仏（7 月、8 月 13～14 日、8 月 23 日）」、松川八ヶ久保地区及び論田地区の「獅子舞（毎年 10 月第 1 日曜日）」などがある。</p> <p>(特産品)            チェリートマト、山菜</p>				
将来像・基本構想				
将来像： みんながいつも元気でいられる活気あふれる町（2020 年 3 月策定）				
基本構想： <ol style="list-style-type: none"> <li>1 誇りある豊かな心を育む町</li> <li>2 みんながいきいきと健やかに暮らせる町</li> <li>3 みんなが安心して暮らせる町</li> <li>4 豊かな地域力を生かす町</li> </ol>				
沿革				
昭 30.3.31 合体 竹貫村、宮本村 昭 32.4.1 町制施行 平 6.4.1 郡界変更 東白川郡から石川郡				

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

## (16) 三春町

町章	所在地				所在地標高		滝桜
	田村郡三春町字大町1番地の2				海拔 314.3m		
	花		木		鳥		
		松波		しだれ桜		うぐいす	
<b>概要</b>							
<p>(自然条件)            県のほぼ中央部、阿武隈山系の西裾に位置し、郡山市の北東に隣接している。町のほとんどが標高300～500mの丘陵地で、ゆるやかな山並みが続いている。気候は内陸性で、冬の降雪は少なく、夏もあまり暑くないため、過ごしやすい。</p> <p>(産業・経済)            田村西部工業団地が磐越自動車道船引三春 IC に隣接しており、交通アクセスに優れた生産基地を提供。市街地においては、商業基盤等の充実や蔵を活用した賑わい創出等魅力的な商店街の形成が図られている。また、豊かな田園生活を追及した新たな農業への取り組みが行われている。</p> <p>(観光・文化)            樹齢千年以上といわれる国指定天然記念物三春滝桜、歴史民俗資料館、三春郷土人形館、旧城下町のたたずまいや神社仏閣、自由民権運動の発祥の地として歴史や観光資源が多い。また、三春ダムやその周辺の施設なども年間を通して訪れる人も多い。</p> <p>(伝統行事・伝統芸能)            元日に行われる西方水かけ祭り、1月第3日曜日の三春だるま市、各神社の祭礼に奉納される長獅子舞・三匹獅子舞・太々神楽、8月15・16日に行われる三春盆踊りなどが今に伝えられる。また、これらの保存会の活動も盛んである。</p> <p>(特産品)            三春駒、三春人形(張子)、三角油あげ、米、しいたけ、ピーマン、三春素麺、地酒、ブルーベリー</p>							
<b>将来像・基本目標</b>							
将来像：豊かな自然・歴史・文化に生まれ未来に輝く元気なまち 三春 ～いつまでも住みよい自慢し合えるまちづくり～ (2015年4月策定)							
基本目標： <ol style="list-style-type: none"> <li>1 誰もが安全安心に暮らせるまちづくり</li> <li>2 住みよい美しい環境で暮らせるまちづくり</li> <li>3 豊かな心と文化を育むまちづくり</li> <li>4 誰もが健やかに暮らせるまちづくり</li> <li>5 産業が育ち魅力と活力にあふれるまちづくり</li> <li>6 協働と町民参画による自立したまちづくり</li> </ol>							
<b>沿革</b>							
昭 30.4.1 合体 三春町、中郷村、沢石村、要田村、御木沢村、中妻村 昭 30.11.1 境界変更 郡山市大字荒井 蒲倉 昭 30.11.15 編入 岩江村の一部 昭 31.10.10 境界変更 郡山市大字下舞木の一部 昭 32.3.31 境界変更 船引町の一部 昭 35.4.1 境界変更 郡山市大字上舞木及び下舞木の一部 昭 38.9.1 境界変更 船引町の一部							

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

## (17) 小野町

町章	所在地		所在地標高		夏井千本桜
	田村郡小野町大字小野新町字館廻 92 番地		海拔 432.00m		
	花	木	鳥		
	 つつじ	 杉	 かつこう		
概要					
<p>(自然条件) 阿武隈山系の中部に位置し、3市1村と境を接する。地形は、周囲を矢大臣山、日影山等の小高い山に囲まれた丘陵地帯で、町中央を右支夏井川が流れている。標高は町の中心部で432m、気温は平均10℃前後と低く冷涼、降雨量は少ない。</p> <p>(産業・経済) 地域の特性や伝統を生かしながら、農業・林業・工業・観光の連携・発展を推進するとともに、新たな産業が育ちやすい環境を整備し、活気と活力のある自立性の高い、個性豊かで快適な魅力ある町づくりを進める。</p> <p>(観光・文化) 県立自然公園の東堂山は町のシンボルの一つで、中腹には、大同2年(807年)に開山したと伝えられている満福寺があり、境内奥には500体を超える羅漢像が老杉に囲まれ静かに佇んでいる。 また、4月には夏井川沿いに1,000本の桜が一斉に咲き誇り、5月には高柴山の約3万株の山ツツジが山頂を赤く染め、町の春を彩る。</p> <p>(伝統行事・伝統芸能) 東堂山例大祭(5月3日)、たかむら踊り(8月)、じゃんがら念仏踊り(8月)、菅布彌神社祭礼(9月)、八雲神社祭礼(9月)、塩釜神社祭礼(9月下旬)</p> <p>(特産品) 黒にんにく、しいたけ、御影石、葉たばこ、長いも、おのっこ一笑漬(漬物)、小町めん、蛭石</p>					
将来像・基本目標					
将来像：人も自然も元気 みんなの笑顔が かがやくまち (2018年3月策定)					
基本目標：					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子育てや教育に喜びを感じ、そして生きがいを見出すために</li> <li>2 便利で住みよいきれいな町を目指して</li> <li>3 将来への不安のない健康的な暮らしを全ての町民へ</li> <li>4 働く喜びをみんなで感じるために</li> </ol>					
沿革					
昭 30.2.1 合併 小野新町、飯豊村、夏井村					

出典：福島県市町村要覧 2021、各市町村 HP

## 2 構成市町村統計データ

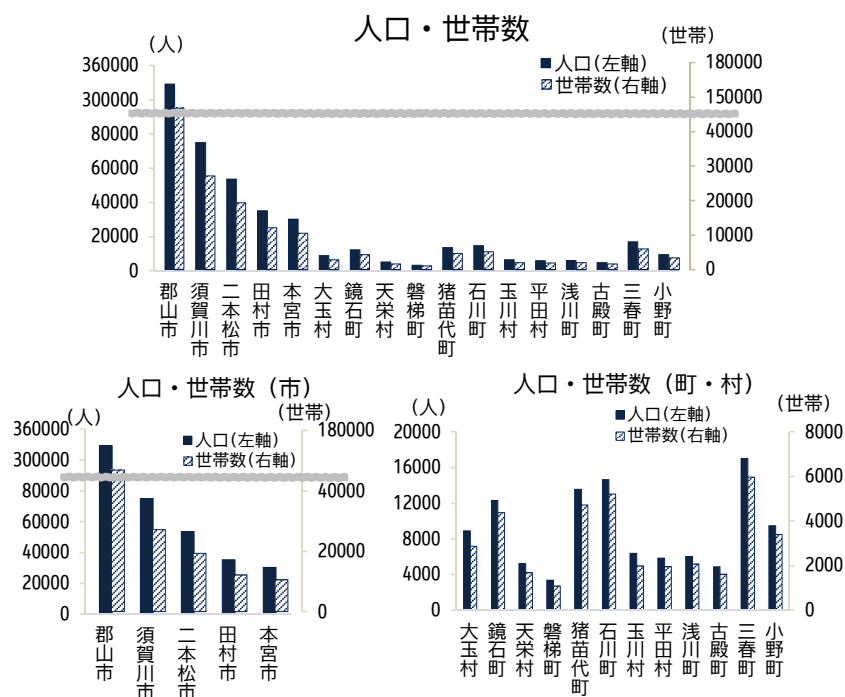
項目番号	資料出所
(1)	国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」
(2)～(11)	福島県統計課「福島県の推計人口」、総務省統計局「国勢調査報告」
(12)	福島県統計課「福島県の推計人口」、厚生労働省「人口動態統計」
(13)	厚生労働省「人口動態調査保健所・市区町村別統計」
(14)	厚生労働省「市区町村別生命表」
(15)	総務省統計局「国勢調査報告」
(16)～(17)	総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査結果」
(18)	農林水産省統計部「農林業センサス報告書」
(19)	福島県森林計画課「福島県森林・林業統計書」
(20)	福島県統計課「工業統計調査結果報告書」
(21)	総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査結果」
(22)	福島県統計課「福島県市町村民経済計算年報」
(23)～(25)	福島県市町村財政課「市町村財政年報」
(26)	福島県道路管理課
(27)	東北運輸局「福島県市町村別保有車両数」
(28)	福島県消防保安課「消防防災年報」
(29)	福島県警察本部交通企画課「交通白書」
(30)	福島県下水道課「汚水処理人口普及率」
(31)	福島県一般廃棄物課
(32)	厚生労働省「医療施設調査」、「医師・歯科医師・薬剤師統計」
(33)	厚生労働省「第8期計画期間における介護保険料の第1号保険料について」
(34)	厚生労働省「(年金・日本年金機構関係)事業月報」
(35)	福島県国民健康保険課「国民健康保険事業状況」
(36)～(37)	厚生労働省「社会福祉施設等調査」
(38)～(43)	福島県統計課「学校基本調査報告書」

※福島県企画調整部統計課編「令和3年版 福島県勢要覧」を再編・加工



市町村名	(1) 面積 km <sup>2</sup>	(2)世帯数 令和2年	(3) 1世帯 当たり 人員 人	(4)人口 令和2年			(5) 人口密度 (1km <sup>2</sup> 当たり) 人
		総数 世帯		総数 人	男 人	女 人	
調査期日	令2.10.1	令2.10.1	令2.10.1	令2.10.1			令2.10.1
<b>県計</b>	<b>13,784.14</b>	<b>742,911</b>	<b>2.5</b>	<b>1,833,152</b>	<b>903,864</b>	<b>929,288</b>	<b>133.0</b>
<b>圏域計</b>	<b>3,372.74</b>	<b>246,608</b>	<b>2.6</b>	<b>629,144</b>	<b>310,354</b>	<b>318,790</b>	<b>186.5</b>
郡山市	757.20	140,441	2.3	327,692	161,830	165,862	432.8
須賀川市	279.43	27,127	2.8	74,992	36,781	38,211	268.4
二本松市	344.42	19,384	2.8	53,557	26,305	27,252	155.5
田村市	458.33	12,159	2.9	35,169	17,320	17,849	76.7
本宮市	88.02	10,571	2.9	30,236	15,018	15,218	343.5
大玉村	79.44	2,874	3.1	8,900	4,427	4,473	112.0
鏡石町	31.30	4,382	2.8	12,318	6,030	6,288	393.5
天栄村	225.52	1,671	3.1	5,194	2,567	2,627	23.0
磐梯町	* 59.77	1,079	3.1	3,322	1,604	1,718	55.6
猪苗代町	* 394.85	4,718	2.9	13,552	6,533	7,019	34.3
石川町	115.71	5,214	2.8	14,644	7,334	7,310	126.6
玉川村	46.67	1,980	3.2	6,392	3,202	3,190	137.0
平田村	93.42	1,953	3.0	5,826	2,883	2,943	62.4
浅川町	37.43	2,070	2.9	6,036	3,031	3,005	161.3
古殿町	163.29	1,610	3.0	4,825	2,364	2,461	29.5
三春町	72.76	5,977	2.8	17,018	8,448	8,570	233.9
小野町	125.18	3,398	2.8	9,471	4,677	4,794	75.7

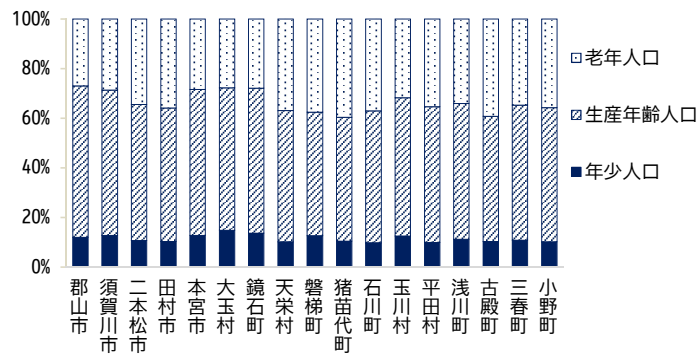
注：(1)\*は、境界の一部が未定のため、参考値を示した。



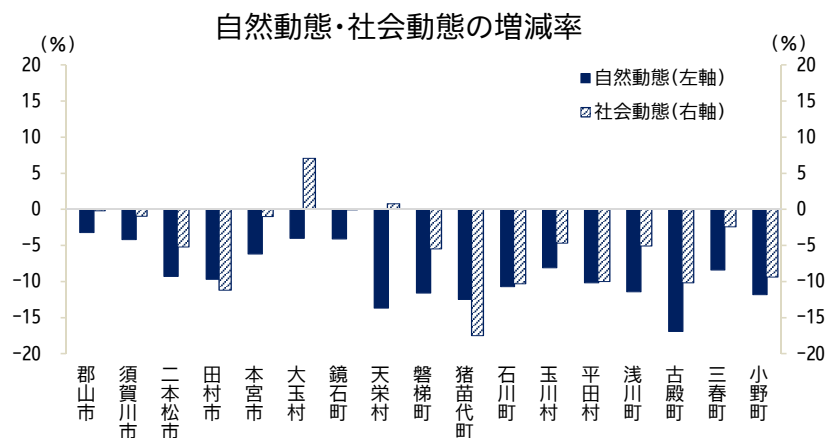
市町村名	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)
	年少人口 (15歳未満) 人	生産年齢人口 (15-64歳) 人	老年人口 (65歳以上) 人	年少人口 割合 %	生産年齢 人口割合 %	老年人口 割合 %
調査期日	令2.10.1	令2.10.1	令2.10.1	令2.10.1	令2.10.1	令2.10.1
<b>県計</b>	<b>206,993</b>	<b>1,045,887</b>	<b>580,272</b>	<b>11.3</b>	<b>57.1</b>	<b>31.7</b>
<b>圏域計</b>	<b>74,368</b>	<b>368,280</b>	<b>186,496</b>	<b>11.8</b>	<b>58.5</b>	<b>29.6</b>
郡山市	39,327	200,216	88,149	12.0	61.1	26.9
須賀川市	9,573	43,936	21,483	12.8	58.6	28.6
二本松市	5,764	29,341	18,452	10.8	54.8	34.5
田村市	3,630	18,906	12,633	10.3	53.8	35.9
本宮市	3,881	17,775	8,580	12.8	58.8	28.4
大玉村	1,322	5,114	2,464	14.9	57.5	27.7
鏡石町	1,684	7,193	3,441	13.7	58.4	27.9
天栄村	530	2,748	1,916	10.2	52.9	36.9
磐梯町	421	1,655	1,246	12.7	49.8	37.5
猪苗代町	1,425	6,758	5,369	10.5	49.9	39.6
石川町	1,428	7,784	5,432	9.8	53.2	37.1
玉川村	796	3,571	2,025	12.5	55.9	31.7
平田村	584	3,185	2,057	10.0	54.7	35.3
浅川町	682	3,298	2,056	11.3	54.6	34.1
古殿町	499	2,433	1,893	10.3	50.4	39.2
三春町	1,851	9,256	5,911	10.9	54.4	34.7
小野町	971	5,111	3,389	10.3	54.0	35.8

注：(6)～(11)年齢不詳補完

年齢3区分別人口割合



市町村名	(12)人口動態								(13)	(14)平均寿命		
	自然動態			社会動態			婚姻	離婚	合計特殊出生率 (ベイズ推定値)	男	女	
	出生数 人	死亡数 人	自然増減率 ‰	転入 人	転出 人	社会増減率 ‰						件
調査期日	令元(年間)				令元(年間)				平25~29年	平27		
県計	11,595	24,949	△ 7.2	56,898	62,625	△ 3.1	7,510	2,985	1.56	80.1	86.4	
圏域計	4,094	7,599	△ 5.6	20,121	21,672	△ 2.5	2,691	1,052	-	-	-	
郡山市	2,311	3,361	△ 3.2	11,297	11,379	△ 0.2	1,620	619	1.48	80.9	86.7	
須賀川市	508	825	△ 4.2	2,368	2,439	△ 0.9	314	123	1.49	80.0	86.8	
二本松市	300	821	△ 9.3	1,318	1,611	△ 5.2	190	73	1.42	80.5	86.7	
田村市	202	557	△ 9.7	751	1,161	△ 11.2	118	43	1.53	80.2	86.6	
本宮市	178	369	△ 6.2	1,039	1,071	△ 1.0	110	46	1.46	80.2	86.8	
大玉村	66	102	△ 4.0	341	278	7.1	36	11	1.58	80.1	86.1	
鏡石町	97	148	△ 4.1	455	456	△ 0.1	53	26	1.61	79.7	86.9	
天栄村	37	110	△ 13.7	219	215	0.8	24	6	1.48	80.4	86.5	
磐梯町	22	62	△ 11.6	119	138	△ 5.5	7	6	1.61	80.5	87.3	
猪苗代町	62	239	△ 12.5	596	843	△ 17.5	36	14	1.59	79.9	87.0	
石川町	70	229	△ 10.7	323	476	△ 10.3	49	17	1.45	80.2	86.5	
玉川村	42	95	△ 8.1	160	191	△ 4.7	12	8	1.54	80.3	86.6	
平田村	25	87	△ 10.2	172	233	△ 10.0	17	12	1.55	80.0	86.4	
浅川町	26	97	△ 11.4	162	194	△ 5.1	17	8	1.52	80.1	86.6	
古殿町	18	101	△ 16.9	89	139	△ 10.2	10	3	1.51	80.2	86.9	
三春町	85	234	△ 8.4	454	497	△ 2.4	51	27	1.36	81.3	86.9	
小野町	45	162	△ 11.8	258	351	△ 9.4	27	10	1.50	80.6	86.7	

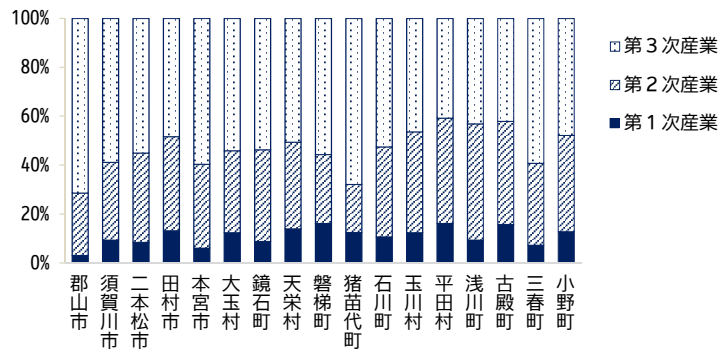


市町村名	(15)就業者				(16)	(17)
	総数 人	第1次産業 人	第2次産業 人	第3次産業 人	事業所数 ( 民 営 )	従業者数 ( 民 営 ) 人
調査期日	平27.10.1				平28.6.1	平28.6.1
県 計	922,133	59,780	271,326	555,204	85,960	806,130
圏 域 計	318,342	20,658	92,325	189,588	29,636	287,113
郡 山 市	156,056	4,550	36,734	102,817	15,836	165,207
須賀川市	38,610	3,472	11,813	21,717	3,203	29,709
二本松市	29,531	2,462	10,573	15,848	2,450	22,168
田 村 市	20,022	2,616	7,659	9,603	1,655	13,079
本 宮 市	15,355	920	5,180	8,952	1,421	15,938
大 玉 村	4,585	566	1,537	2,469	235	2,239
鏡 石 町	6,218	552	2,321	3,318	509	4,999
天 栄 村	2,934	403	1,018	1,450	214	1,935
磐 梯 町	1,756	286	494	976	122	2,572
猪苗代町	7,453	923	1,446	4,984	806	5,480
石 川 町	7,776	824	2,816	4,021	862	5,997
玉 川 村	3,762	424	1,416	1,592	314	2,749
平 田 村	3,508	548	1,464	1,381	260	2,116
浅 川 町	3,352	315	1,585	1,437	302	1,993
古 殿 町	2,780	440	1,164	1,158	273	1,778
三 春 町	9,141	658	2,981	5,284	660	5,569
小 野 町	5,503	699	2,124	2,581	514	3,585

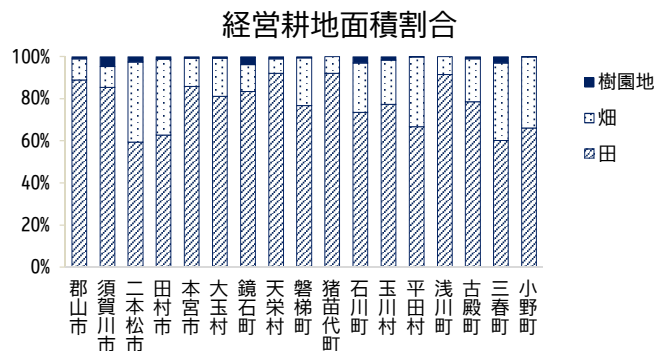
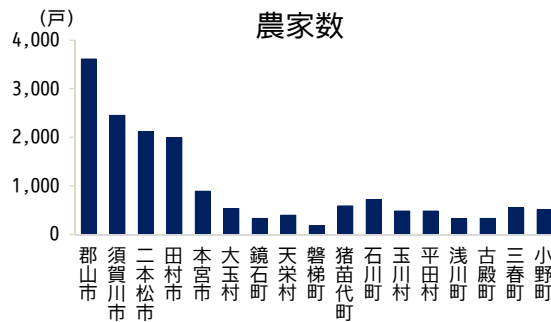
注：(15) 就業者総数には「不詳」を含む。

注：(16) 事業所数には「事業内容等不詳」を含む。

産業別就業人口割合

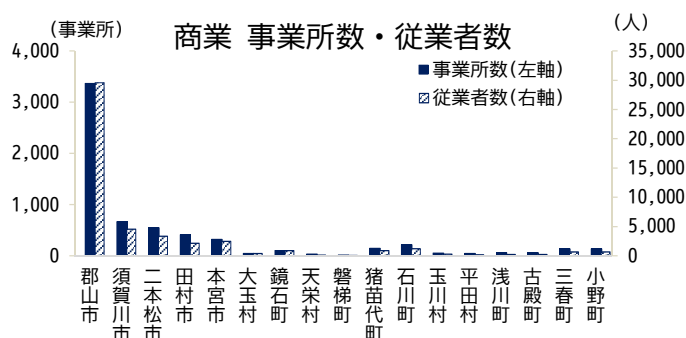
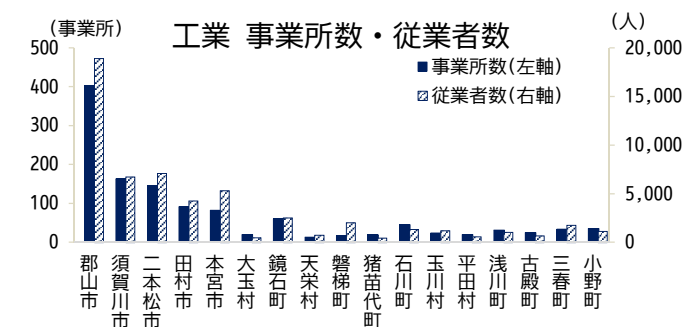


市町村名	(18)農業経営体(個人)								(19)森林面積				
	農家数 戸	15歳以上農業就業人口			経営耕地面積				総数 ha	国有 ha	私有		
		総数 人	男 人	女 人	総数 a	田 a	畑 a	樹園地 a			公有 ha	私有 ha	森林農地 整備セン ター ha
調査期日	令2.2.1	令2.2.1						令元年度					
県計	41,671	142,413	72,090	70,323	8,305,647	6,599,257	1,292,546	413,844	973,305	408,464	97,044	455,837	11,960
圏域計	16,477	59,233	29,899	29,334	3,150,466	2,540,267	554,123	56,076	195,301	63,499	21,851	107,230	2,720
郡山市	3,611	12,432	6,163	6,269	828,185	737,004	83,846	7,335	39,703	9,978	7,039	20,464	2,221
須賀川市	2,451	9,224	4,692	4,532	560,435	478,789	55,637	26,009	11,812	2,745	1,882	6,999	186
二本松市	2,114	7,401	3,787	3,614	320,159	190,392	121,710	8,057	15,368	2,432	1,094	11,842	-
田村市	1,992	7,092	3,602	3,490	221,541	139,279	79,845	2,417	30,274	9,883	1,003	19,374	14
本宮市	891	3,364	1,665	1,699	154,583	132,905	20,729	949	2,745	-	178	2,567	-
大玉村	532	1,989	987	1,002	122,619	99,710	22,053	856	4,968	2,824	556	1,588	-
鏡石町	333	1,265	644	621	74,908	62,649	9,462	2,797	327	-	11	316	-
天栄村	396	1,494	756	738	93,362	86,209	6,376	777	19,227	14,446	463	4,318	-
磐梯町	176	616	309	307	62,052	47,742	13,962	348	3,866	428	747	2,575	115
猪苗代町	586	2,232	1,116	1,116	246,689	227,234	19,316	139	27,221	11,558	7,818	7,673	172
石川町	720	2,529	1,266	1,263	111,854	82,391	26,023	3,440	5,864	-	280	5,585	-
玉川村	483	1,844	937	907	53,881	41,726	11,338	817	2,122	691	174	1,257	-
平田村	479	1,623	847	776	76,611	51,180	25,381	50	5,715	1,351	66	4,298	-
浅川町	324	1,265	657	608	56,208	51,494	4,702	12	1,624	-	8	1,616	-
古殿町	334	1,110	555	555	33,634	26,486	6,874	274	13,497	6,192	107	7,198	-
三春町	546	1,965	1,003	962	58,059	34,901	21,409	1,749	2,334	-	68	2,254	12
小野町	509	1,788	913	875	75,686	50,176	25,460	50	8,634	971	357	7,306	-



市町村名	(20)工業			(21)商業				
	事業所数	従業者数 人	製造品出荷額 等 万円	事業所数			従業者数 人	年間商品 販売額 百万円
				総数 事業所	卸売業 事業所	小売業 事業所		
調査期日	令2.6.1	令元(年間)		平28.6.1	平27(年間)			
県計	3,485	158,688	508,896,570	18,628	4,077	14,551	129,756	4,631,742
圏域計	1,225	56,329	163,777,029	6,382	1,627	4,755	48,280	1,921,199
郡山市	402	18,922	63,211,358	3,364	1,159	2,205	29,586	1,402,963
須賀川市	163	6,729	16,270,420	668	147	521	4,591	131,949
二本松市	145	7,099	19,381,307	550	80	470	3,357	94,567
田村市	91	4,276	10,543,106	408	46	362	2,154	50,306
本宮市	82	5,305	23,493,747	321	73	248	2,505	132,638
大玉村	20	496	1,335,442	46	5	41	418	11,333
鏡石町	60	2,521	5,918,295	104	21	83	886	17,617
天栄村	13	745	885,223	39	6	33	131	2,169
磐梯町	16	2,024	4,559,838	18	1	17	86	1,775
猪苗代町	19	449	677,662	146	19	127	927	16,602
石川町	45	1,347	2,620,703	219	20	199	1,228	17,203
玉川村	24	1,198	4,579,916	57	10	47	321	5,693
平田村	20	568	1,543,748	50	1	49	220	3,474
浅川町	31	1,057	2,490,308	59	5	54	243	3,563
古殿町	25	672	1,153,084	64	5	59	236	2,586
三春町	34	1,775	3,661,441	134	19	115	687	15,375
小野町	35	1,146	1,451,431	135	10	125	704	11,386

注：(20)工業は、従業者4人以上の事業所。

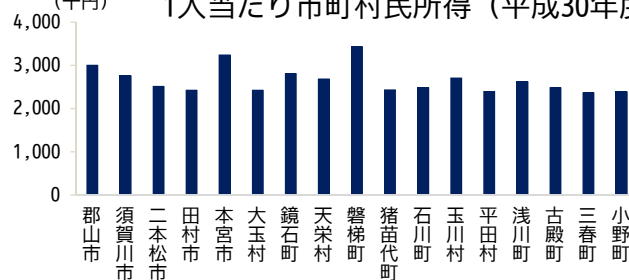




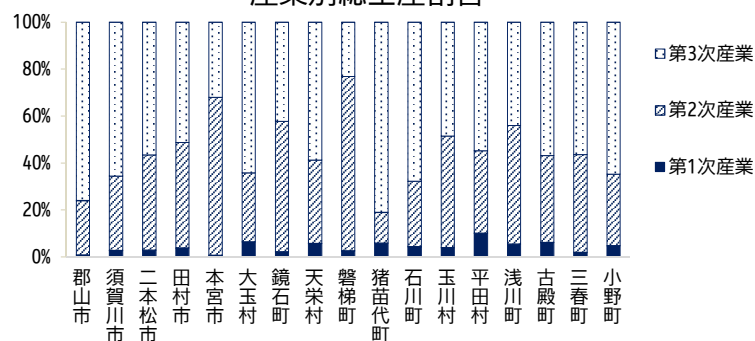
市町村名	(22)市町村民所得					
	1人当たり市町村民所得		市町村内 総生産 百万円	産業別総生産		
	平成29年度 千円	平成30年度 千円		第1次産業 百万円	第2次産業 百万円	第3次産業 百万円
調査期日	平30年度		平30年度			
県計	2,946	2,943	7,905,423	130,687	2,683,351	5,062,077
圏域計	2,648	2,657	2,483,014	46,250	806,131	1,621,419
郡山市	2,992	3,001	1,344,488	11,601	310,258	1,017,644
須賀川市	2,772	2,756	265,006	7,298	83,973	172,752
二本松市	2,539	2,513	172,898	5,007	70,024	97,225
田村市	2,390	2,422	116,010	4,429	52,032	59,118
本宮市	3,259	3,242	208,167	1,590	139,616	66,189
大玉村	2,413	2,424	20,643	1,323	6,056	13,187
鏡石町	2,751	2,811	48,832	1,059	27,107	20,484
天栄村	2,690	2,683	18,727	1,070	6,644	10,943
磐梯町	3,379	3,434	35,475	903	26,272	8,168
猪苗代町	2,435	2,432	45,211	2,678	5,853	36,512
石川町	2,499	2,486	46,576	2,041	12,941	31,421
玉川村	2,686	2,709	27,896	1,111	13,217	13,464
平田村	2,392	2,395	18,633	1,872	6,538	10,153
浅川町	2,688	2,627	18,966	1,037	9,555	8,304
古殿町	2,423	2,484	14,893	909	5,509	8,420
三春町	2,342	2,367	54,072	1,054	22,449	30,368
小野町	2,359	2,391	26,521	1,268	8,087	17,067

注：(22)市町村内総生産の産業別内訳には、輸入品に課される税・関税等が含まれないため、第1次産業から第3次産業の小計は県内総生産と合致しない。

(千円) 1人当たり市町村民所得 (平成30年度)

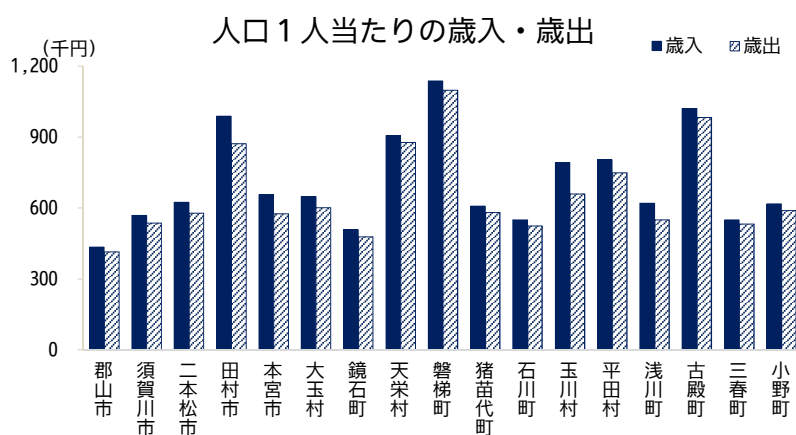


産業別総生産割合

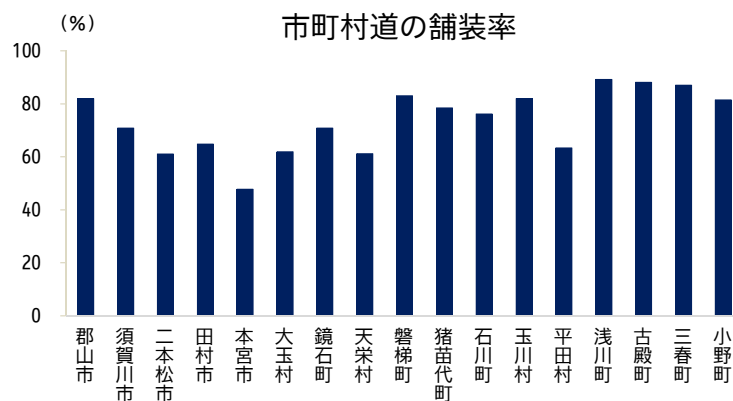


市町村名	(23) 普通会計の決算状況								(24)	(25)
	歳入							歳出 総額 千円	地方債 現在高 割合 %	財政力指数 平29+平30+ 令元年度 3
	歳入 総額 千円	うち 地方税 千円	うち 地方譲与税 千円	うち 地方交付税 千円	うち 国庫支出金 千円	うち 県支出金 千円	うち 地方債 千円			
調査期日	令元年度								令元年度	
県計	1,187,881,773	272,971,511	9,920,304	241,045,076	158,575,435	132,156,085	80,646,277	1,109,934,983	73.6	0.48
圏域計	343,529,711	88,886,856	3,358,246	71,150,450	37,231,201	48,770,253	23,473,821	321,907,556	-	-
郡山市	142,485,125	51,463,434	1,154,010	11,304,326	18,444,621	21,421,270	7,206,550	136,047,622	59.5	0.84
須賀川市	42,599,275	9,563,382	461,805	8,998,488	4,851,186	6,376,621	3,678,200	40,331,192	95.8	0.59
二本松市	33,419,706	6,354,751	446,897	9,468,966	3,629,815	4,070,896	2,762,852	31,051,256	104.2	0.45
田村市	34,763,074	3,886,553	264,482	11,744,929	3,032,812	8,247,210	1,771,600	30,686,925	69.3	0.34
本宮市	19,859,802	4,596,088	182,329	3,583,807	2,457,482	1,470,881	1,692,400	17,418,364	88.5	0.66
大玉村	5,769,290	960,512	72,253	1,679,056	392,646	818,264	189,800	5,358,439	82.1	0.39
鏡石町	6,255,584	1,645,177	71,705	2,252,810	633,675	502,101	355,000	5,894,090	92.5	0.61
天栄村	4,706,913	758,286	85,895	1,717,374	329,704	697,903	339,813	4,561,182	79.2	0.34
磐梯町	3,777,589	594,344	25,333	1,574,827	222,170	218,167	307,137	3,650,215	169.6	0.30
猪苗代町	8,239,274	1,833,962	88,595	3,235,824	484,617	732,094	687,543	7,891,364	108.3	0.39
石川町	8,043,149	1,638,606	102,517	2,817,492	573,543	721,178	785,205	7,694,072	93.1	0.43
玉川村	5,062,804	743,291	55,567	2,391,995	388,451	393,735	251,162	4,219,423	73.7	0.40
平田村	4,684,044	644,183	66,924	1,965,493	321,286	269,124	754,427	4,370,789	173.6	0.28
浅川町	3,742,682	704,766	37,480	1,413,808	238,570	242,775	283,480	3,321,870	95.8	0.36
古殿町	4,926,818	520,042	69,225	2,080,088	242,120	336,080	904,140	4,746,998	121.2	0.23
三春町	9,346,725	1,934,837	107,224	2,742,904	554,598	1,693,030	809,800	9,075,808	79.5	0.45
小野町	5,847,857	1,044,642	66,005	2,178,263	433,905	558,924	694,712	5,587,947	97.5	0.35

注：(24)地方債現在高÷歳出決算総額

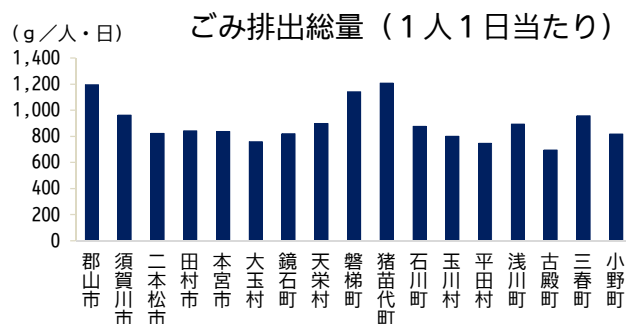
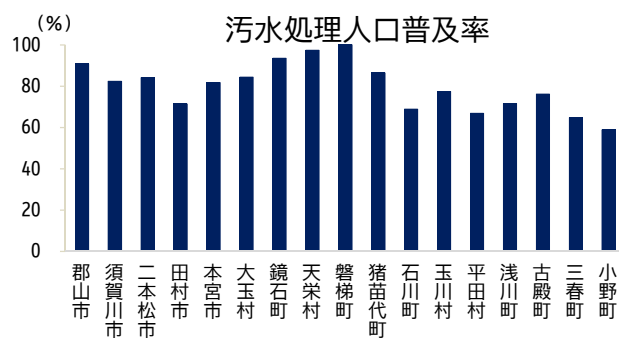


市町村名	(26)市町村道の現況			(27)自動車保有台数			
	実延長 m	うち 舗装済延長 m	舗装率 %	総数 台	うち 乗用車 台	うち 貨物車 台	うち 軽自動車 台
調査期日	令2.4.1			令3.3.31			
県計	32,840,745	22,807,680	69.4	1,625,116	763,654	131,679	660,036
圏域計	11,803,590	8,380,985	71.0	562,672	267,043	48,988	222,807
郡山市	3,264,401	2,674,588	81.9	271,800	141,137	24,936	94,571
須賀川市	1,464,978	1,037,707	70.8	67,965	31,987	5,598	27,566
二本松市	2,032,702	1,242,528	61.1	51,725	21,053	4,261	24,340
田村市	1,113,637	721,951	64.8	35,743	14,427	2,611	17,228
本宮市	902,308	431,093	47.8	29,694	12,511	3,397	12,252
大玉村	333,848	206,587	61.9	9,169	3,841	905	3,915
鏡石町	244,434	173,243	70.9	10,917	5,132	936	4,355
天栄村	322,856	197,635	61.2	6,062	2,839	481	2,488
磐梯町	88,078	73,131	83.0	3,078	1,385	182	1,340
猪苗代町	232,440	182,390	78.5	12,892	5,704	856	5,550
石川町	418,601	318,984	76.2	14,117	6,074	977	6,529
玉川村	194,902	159,746	82.0	6,769	2,891	596	3,044
平田村	279,102	176,823	63.4	6,735	2,592	617	3,185
浅川町	114,059	101,767	89.2	5,633	2,586	376	2,433
古殿町	215,825	190,052	88.1	5,257	2,164	459	2,472
三春町	343,260	298,571	87.0	15,635	6,704	1,099	7,198
小野町	238,159	194,189	81.5	9,481	4,016	701	4,341

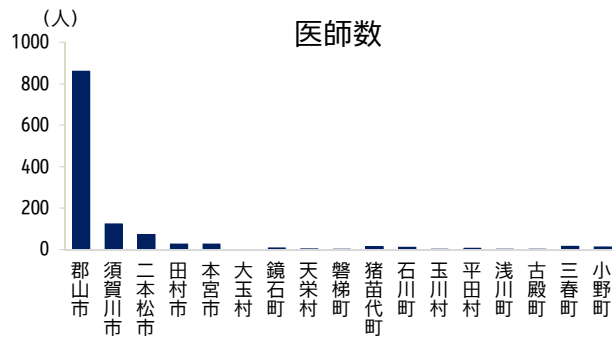
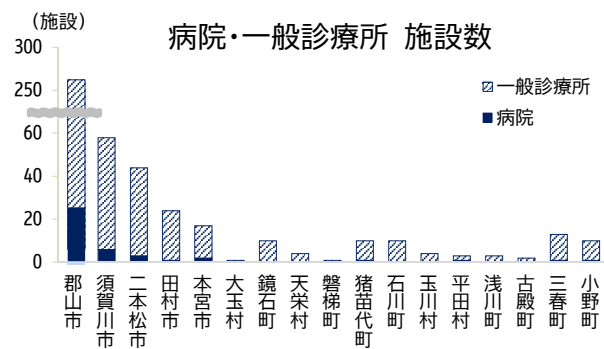


市町村名	(28)消防				(29)交通事故			(30)	(31)
	消防団員 人	火災件数 件	人口1万人 当たり 出火率 %	建物火災の 損害額 千円	発生件数 件	死者数 人	傷者数 人	汚水処理人口 普及率 %	ごみ排出 総量 (1人1日 当たり) g/人・日
調査期日	令2.4.1 令元(年間)		令元(年間)			令3.3.31 平30年度			
県計	32,056	657	3.4	1,861,197	(55) 3,864	(3) 58	(88) 4,595	84.6	1,029
圏域計	10,286	227	3.6	376,879	1,401	18	1,655	-	15,283
郡山市	2,338	81	2.4	124,555	920	9	1,085	90.7	1,195
須賀川市	1,113	28	3.7	40,680	107	3	130	82.4	963
二本松市	1,396	23	4.1	64,855	84	2	92	84.0	824
田村市	1,379	15	4.1	17,597	43	-	52	71.3	842
本宮市	541	12	3.9	27,446	81	1	93	81.7	839
大玉村	168	5	5.6	-	20	1	21	84.3	759
鏡石町	168	7	5.7	5,141	14	-	15	93.5	820
天栄村	191	8	15.1	13,819	7	-	10	97.4	900
磐梯町	162	6	17.5	4,504	7	-	8	100.0	1,142
猪苗代町	534	6	4.3	13,542	33	2	50	86.3	1,208
石川町	468	8	5.4	36,861	16	-	19	68.9	877
玉川村	286	6	9.2	9,074	12	-	13	77.3	802
平田村	227	6	9.9	1,423	7	-	8	66.9	746
浅川町	254	3	4.8	-	4	-	4	71.4	894
古殿町	258	4	8.2	230	2	-	2	76.2	696
三春町	445	4	2.3	16,587	31	-	38	64.7	957
小野町	358	5	5.1	565	13	-	15	58.7	819

注：(29)交通事故欄の( )は、高速道における事故で外数（県合計のみ集計）。



市町村名	(32)医療						(33) 介護保険料 65歳以上 基準額月額 円	(34)国民年金の状況		
	施設数			従業地別				第1号被 保険者数 人	老齢給 付受給 権者数 人	老齢給付年 金総額 千円
	病院数	一般診療所	歯科診療所	医師 人	歯科医師 人	薬剤師 人				
調査期日	令元.10.1			平30.12.31			令3~5年度 令2年度末現在			
県計	126	1,346	853	3,993	1,388	3,673	6,108	177,961	-	-
圏域計	38	431	295	1,189	577	1,233	-	-	-	-
郡山市	22	233	171	861	417	836	5,573	33,058	83,642	54,329,191
須賀川市	6	52	36	124	49	127	6,470	7,368	21,173	14,079,602
二本松市	3	41	21	73	22	78	6,200	4,590	18,069	12,346,086
田村市	1	23	14	26	19	34	6,000	3,369	12,495	8,230,990
本宮市	2	15	13	27	17	44	5,900	2,565	8,322	5,663,819
大玉村	-	1	1	-	1	2	6,000	689	2,384	1,645,490
鏡石町	-	10	3	8	5	15	6,300	1,210	3,468	2,323,676
天栄村	-	4	2	3	2	4	6,500	446	1,942	1,338,945
磐梯町	-	1	-	2	1	6	6,900	285	1,210	804,906
猪苗代町	1	9	7	14	9	14	5,900	1,272	5,277	3,560,215
石川町	-	10	9	11	11	18	5,600	1,342	5,460	3,656,575
玉川村	-	4	2	2	2	8	5,950	552	2,061	1,386,132
平田村	1	2	3	7	4	6	5,900	537	1,921	1,185,669
浅川町	-	3	2	1	4	5	5,100	539	2,065	1,380,697
古殿町	-	2	2	1	4	3	6,400	443	1,921	1,308,055
三春町	1	12	6	16	7	24	5,758	1,505	5,670	3,802,932
小野町	1	9	3	13	3	9	6,600	900	3,342	2,137,501



市町村名	(35)国民健康保険の状況		(36)保育所		(37)児童館	(38)幼稚園(公立・私立)			(39)幼保連携型認定こども園(公立・私立)		
	被保険者数 人	保険給付額 千円	保育所 数	定員 人	児童館数	園数	園児数 人	教員数 (本務者) 人	園数	園児数 人	教員数 (本務者) 人
調査期日	令元年度末現在		令元.10.1		令元.10.1	令2.5.1			令2.5.1		
<b>県計</b>	<b>408,941</b>	<b>134,365,318</b>	<b>375</b>	<b>33,584</b>	<b>57</b>	<b>233</b>	<b>17,964</b>	<b>1,729</b>	<b>95</b>	<b>11,743</b>	<b>1,900</b>
<b>圏域計</b>	<b>131,519</b>	<b>41,479,912</b>	<b>123</b>	<b>10,511</b>	<b>14</b>	<b>77</b>	<b>7,141</b>	<b>676</b>	<b>26</b>	<b>3,757</b>	<b>565</b>
郡山市	64,452	19,755,576	53	4,414	1	31	4,926	454	3	504	73
須賀川市	16,239	5,145,056	19	1,408	1	7	339	39	8	1,160	192
二本松市	11,541	3,567,394	14	989	2	13	381	49	5	486	73
田村市	8,350	2,694,800	6	680	2	9	197	16	1	439	49
本宮市	5,745	1,908,354	7	650	2	6	315	31	-	-	-
大玉村	1,717	624,192	1	150	-	2	284	14	-	-	-
鏡石町	2,698	944,342	3	297	2	2	257	25	1	145	28
天栄村	1,324	467,050	1	60	-	2	84	10	-	-	-
磐梯町	840	237,367	1	50	1	1	93	8	-	-	-
猪苗代町	3,268	1,039,562	3	332	1	-	-	-	2	350	54
石川町	3,677	1,126,988	4	348	1	-	-	-	1	117	13
玉川村	1,499	453,862	1	190	-	-	-	-	1	214	38
平田村	1,483	564,257	2	160	-	-	-	-	2	130	23
浅川町	1,388	413,058	1	72	-	1	120	10	-	-	-
古殿町	1,244	373,996	1	160	-	-	-	-	1	102	4
三春町	3,767	1,312,380	3	326	-	2	120	17	1	110	18
小野町	2,287	851,678	3	225	1	1	25	3	-	-	-

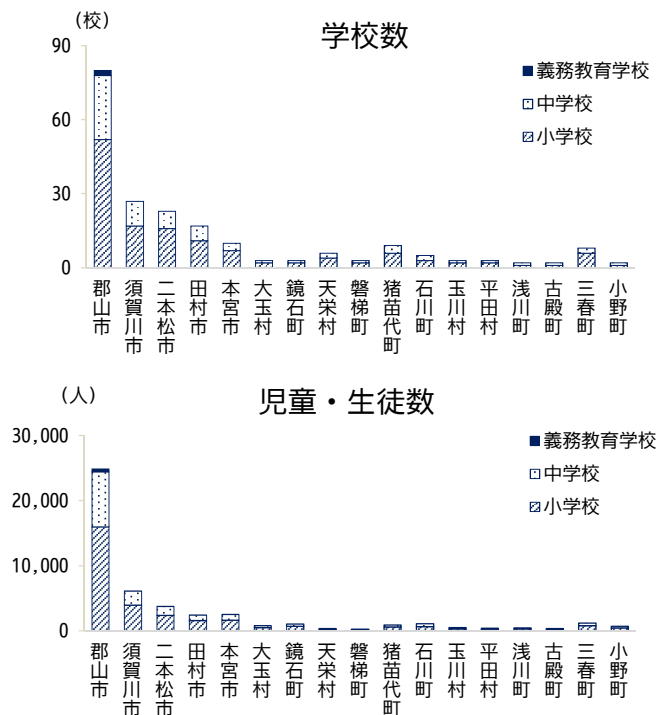
注：(35) 県計には国保組合分が含まれているため、「市計+町村計」と一致しない。

注：(36) 保育所の定員は、調査していない施設を除く。



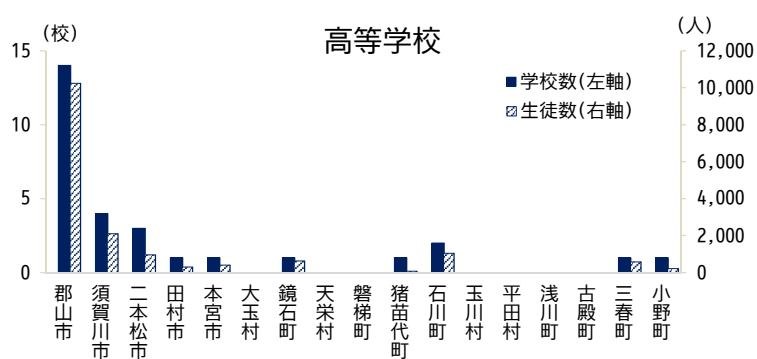
市町村名	(40)小学校 (公立・私立)			(41)中学校 (公立・私立)				(42)義務教育学校 (公立)			
	学校数	児童数 人	教員数 (本務者) 人	学校数	生徒数 人	教員数 (本務者) 人	高等学校等 進学率 %	学校数	児童 生徒数 人	教員数 (本務者) 人	高等学校等 進学率 %
調査期日	令2.5.1			令2.5.1				令2.3卒業者			
県計	428	86,804	6,761	227	47,108	4,244	98.2	3	492	76	98.3
圏域計	135	30,954	2,283	69	16,538	1,381	-	2	427	48	-
郡山市	52	16,011	1,041	26	8,457	635	96.6	2	427	48	98.3
須賀川市	17	3,974	258	10	2,144	189	98.0	-	-	-	-
二本松市	16	2,370	215	7	1,375	120	98.9	-	-	-	-
田村市	11	1,593	153	6	823	92	96.5	-	-	-	-
本宮市	7	1,631	123	3	905	73	97.8	-	-	-	-
大玉村	2	539	38	1	253	21	97.5	-	-	-	-
鏡石町	2	703	43	1	373	26	96.4	-	-	-	-
天栄村	4	232	36	2	136	21	96.2	-	-	-	-
磐梯町	2	168	24	1	81	11	100.0	-	-	-	-
猪苗代町	6	616	80	3	294	37	99.2	-	-	-	-
石川町	3	683	52	2	420	26	99.4	-	-	-	-
玉川村	2	331	31	1	191	21	100.0	-	-	-	-
平田村	2	277	28	1	152	14	100.0	-	-	-	-
浅川町	1	326	21	1	164	18	100.0	-	-	-	-
古殿町	1	252	17	1	130	15	100.0	-	-	-	-
三春町	6	789	91	2	400	40	99.3	-	-	-	-
小野町	1	459	32	1	240	22	97.7	-	-	-	-

注：(42)は義務教育学校の所在地別の統計。



市 町 村 名	(43)高等学校 (公立・私立)			
	学校数	生徒数 人	教員数 (本務者) 人	大学等 進学率 %
調 査 期 日	令2.5.1		令2.3卒業者	
<b>県 計</b>	<b>110</b>	<b>47,571</b>	<b>3,986</b>	<b>45.8</b>
<b>圏 域 計</b>	<b>29</b>	<b>16,702</b>	<b>1,241</b>	<b>-</b>
郡 山 市	14	10,244	675	55.5
須 賀 川 市	4	2,118	165	34.5
二 本 松 市	3	978	98	29.3
田 村 市	1	315	26	17.6
本 宮 市	1	426	38	14.5
大 玉 村	-	-	-	-
鏡 石 町	1	638	63	7.0
天 栄 村	-	-	-	-
磐 梯 町	-	-	-	-
猪 苗 代 町	1	94	22	31.4
石 川 町	2	1,067	74	45.2
玉 川 村	-	-	-	-
平 田 村	-	-	-	-
浅 川 町	-	-	-	-
古 殿 町	-	-	-	-
三 春 町	1	594	47	27.0
小 野 町	1	228	33	7.8

注：(43)は高等学校の所在地別の統計。

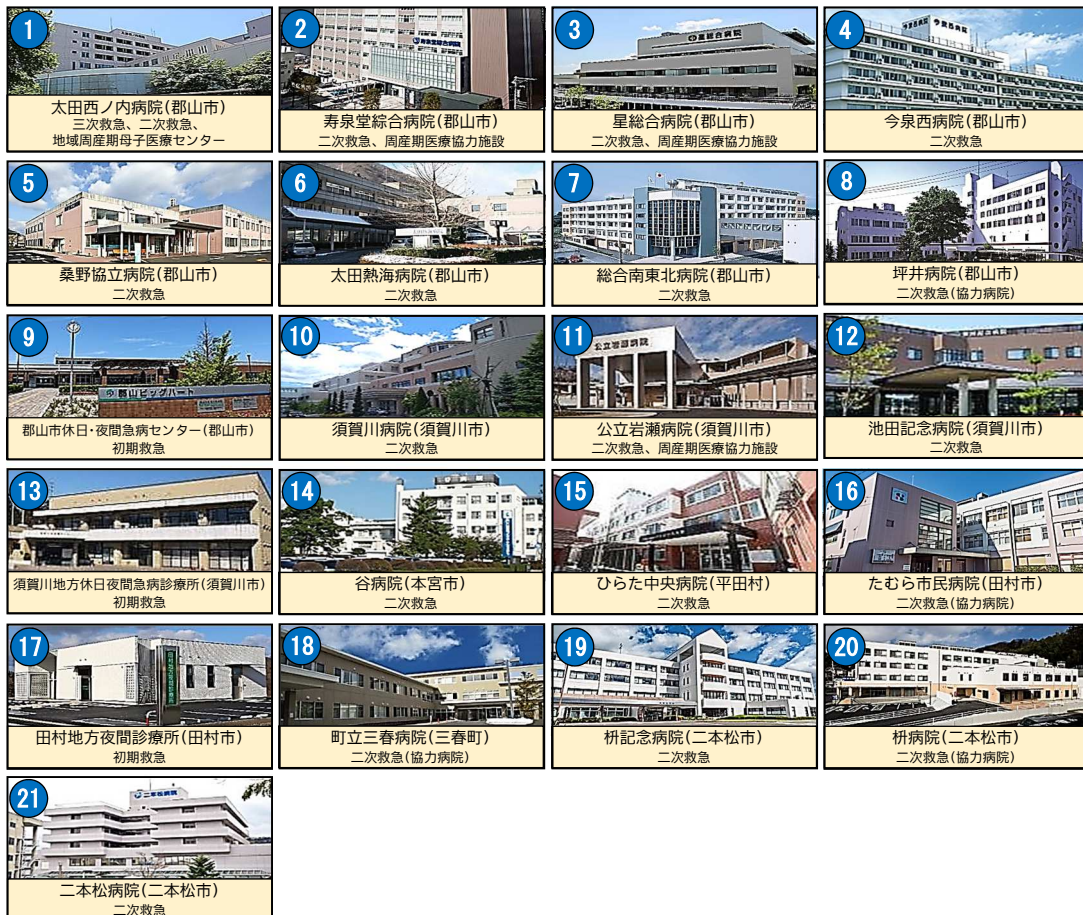


### 3 施設位置図

#### (1) 医薬関連機関位置図



(2) 救急医療施設位置図





(3) 大学・研究開発等拠点施設位置図



 日本大学工学部 (郡山市)	 奥羽大学 (郡山市)	 郡山女子大学・短期大学部 (郡山市)	 放送大学 福島学習センター (郡山市)
 東北大学大学院サテライト (郡山市)	 福島県立テクノアカデミー郡山 (郡山市)	 郡山市園芸振興センター (郡山市)	 福島県林業研究センター (郡山市)
 福島県農業総合センター (郡山市)	 独立行政法人 国際協力機構 JICA 郡山デスク (郡山市)	 ふくしま医療機器開発支援センター (郡山市)	 ⑫福島県ハイテクプラザ (郡山市) ⑬エネルギー・エージェンシー ふくしま (郡山市)
 日本貿易振興機構 (ジェトロ) 福島 (郡山市)	 産業技術総合研究所 FREA (郡山市)	 郡山地域テクノポリス推進機構 郡山テクノポリスものづくり インキュベーションセンター (郡山市)	 ⑭国立環境研究所福島支部 (三春町) ⑮日本原子力研究開発機構 福島研究開発 部門福島安全センター (三春町) ⑯福島県環境創造センター (三春町)
 福島県内水面水産試験場 (猪苗代町)	 福島県猪苗代水環境センター (猪苗代町)	 福島県野生生物共生センター (大玉村)	 JICA 二本松 (二本松市)